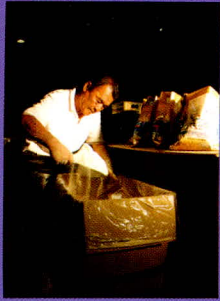


- 6 釣神、降臨。野田幸手園で魅せる、最新版小池流両ダンゴ。そして…
小池忠教スペシャル。
- 19 秋こそ楽しみたい名釣り場。杉山達也が豪快に釣りまくる! 吉川ひとみが思いっきり楽しむ!
一碧湖の魔力。
- 43 第四回マルキューチョーテン王座決定戦優勝・田中雅司の深宙奥義伝承!
新連載 田中雅司【魚心掌握】 Vol.1【勝つための深宙釣り入門1】吉羽園



●今月の表紙●

angler: 小池忠教
field: ベーシック社
photo: 本誌・田中里史
layout: 本誌・田中里史

COLOR (カラー)

- 32 マルキューフィールドデスター・デモンストレーション
- 37 名手・石井旭舟がいく、へら鮒出会い旅… **へらぶな浪漫街道**
《第二十二回》山形・蛭沢湖。未開のボート釣りに挑む。
- 118,146 原始釣人・稲毛利夫&貧果釣人・モロちゃんの純野釣り探求記!
アタリをちょーだい!!
(Vol.10) いなか沼の上池、下池/ゴミ処理場下の上池、下池/無名の池1/無名の池2(埼玉県川町)
- 120 **竹とともに生きる。**
《第14回》「芸舟」作者 森田吉彦
- 123 生井澤 聡&山中いつ子の**佐原水郷の四季**
《其の9》佐原の代名詞、横利根川で釣る
- 129 棚網 久 **あなたの夢を叶えます。**
《第6回》「ミスターG、男にして下さい。」その2
大塩湖&ピン沼川で男の釣行を伝授! ゲスト:清水和久さん
- 134 田辺哲男の「**それってどーゆーことよ!?**」
《Vol.21》中澤 岳【イン・ザ・ボイル】 川越FC
- 138 戦い続ける男、浅草へら鮒会、年間タイトルへの挑戦。小池忠教 **激闘の軌跡**
《第7戦》8月例会:戸面原ダム
- 142 **西日本川釣り紀行 北川穂積**
《第22回》篠山川・前川・千種川(兵庫県)
- 177 戸張 誠 **野釣り道場**
《第五回》【精進湖 天神の深宙】
- 182 岡田 清 **Deep Side Angle**
《Vol.13》【ネオヘラ インビターショナル 第四戦 龜山湖】
- 188 **釣りクラブ見参!**
《第54回》倶楽部一竿 神扇池(埼玉県)
- 190 **釣りの帰りに寄りたいお店**
《file.4》西湖湖畔・【お食事&喫茶 岬】
- 192 **フィッシングレディ**
《今月のレディ》玉谷理恵さん 野田幸手園(千葉県)

MONOCHROME (モノクロ)

- 49 **★エリアレポート**
- 50 砂取沼(北海道) 竹川正行
- 51 三島湖(千葉県) 本誌・伊藤洋一
- 53 邑知淵(石川県) 山本一朗
- 54 堀津カッパ池(岐阜県) 後藤 誠
- 55 斑鳩溜池(奈良県) 前田誠志
- 56 中山陥落2号池(福岡県) 河口正伸
- 58 **あらいしのぶの始めてみようよ、へら鮒釣り**
《第18回》マルキューへ工場見学に行っちゃいました♡
- 62 トーナメンター**小林恭之**が挑む! **竿頭までぶっ飛ばせ!!**
《第10回》マルキューフィールドデスター・デモンストレーション 羽生吉沼
- 66 **NHCスピリット**
《Vol.13》都祭義晃 in 隼人大池
- 73 **江成公隆のトーナメンター、復活への道。**
《Vol.28》緊急対談:江成公隆×天笠 充 part II
- 82 **そんなモジリにダマされて… 天野正由**
《その10》タラ・レバの夏 白樺湖~松原湖
- 88 **水辺のプラネタリウム 吉本亜土**
《今月の星空》「危急存亡」
- 93 **元気が出るへら鮒 西田美明**
《第22回》「台風一過」の巻
- 98 **最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ**
《第二十話》対決シリーズ第4弾。K子嬢と対決せよ!!
- 102 **野田幸手園新聞**
- 104 **ワクワク管理釣り場情報**
- 108 **小売店情報**
- 150 **竹竿&合成竿で未開の釣り場を楽しむ! オデコバンザイ!?**
《その10》山名町の野池(群馬県高崎市)
- ★へら鮒BOX**
- 157 里ちゃんの新米編集長雑誌記
- 158 情報発信基地
- 160 ボイス
- 166 コラム『夢中と書いて夢の中』 伝道師P
- 167 『日研だより』 日研広報部長・遠藤克巳
- 168 『へら狂おやじと呼ばないで』 白石和弘
- 169 **新企画**「紀州“想いの竹”のものがたり」 中塚伸行
- 170 椎の木湖主催 夏休みジュニアへら鮒釣り教室
- 171 芝学園釣り研究部 精進湖で夏合宿
- 172 釣果予想クイズ
- 174 プレゼント発表
- 175 広告索引
- 176 編集後記

STAFF

●Producer
根本百合子

●Editor in chief
田中里史

●Editor
大場勝良
諸富一秋
伊藤小百合
伊藤洋一

●Planner
〈オフィス・えふ〉
藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

「一歩進んで二歩下がる!?!」

〈Vol.28〉

緊急対談。

江成公隆×天竺 充

PART II

●江成の近況報告。(7月の事なので、近況という訳ではないのだけれど…)

7/18。この日は朝から子供とプールへ出かけた。昼過ぎまで遊び、すっ飛んで帰って午後からは盆踊りの準備。一杯やりながら焼そばを焼き、20時にはすでに泥酔状態。ロクに片付けも手伝えぬまま、気が付けば自宅のベッドに寝ていた。聞けば女房の友達の旦那衆が、僕を家まで運んでくれたらしいのだ。何とも恥ずかしく申し訳ない気持ちになった。翌19日は、3時起床でクラブ対抗予選に出発。僕の休日は大概こんな感じだ。

「店を広げ過ぎ!」。里ちに言われるまでもなく、自分でも最近よく感じる。もしかすると無意識に「忙しい自分」を演じたい僕がいるのかも知れない。盆踊りでは酒ではなく、忙しさに酔ってしまったような気がしないでもない。「あちらこちらに引っ張りだこの自分」を作り上げる事で、自らの存在理由を確固たるものにしたいという思考回路なのだろうか? しかし理由はどうであれ、僕のような人間は関係者には迷惑だろう。顔を突っ込んだ方がいいが、いつも最後まで付き合わない。いや、時間的に付き合えないのだ(今回の盆踊りでの失態は別として)。少し縮小していかないとマズいかもしれないが、問題は何を削るか、である。

やりたいことがいっぱいあるだけのうちは楽しい。出来ないイライラもあるが、まだいい。あれこれ手を出して時間もお金も足りない現実に直面するよりは。「やりたい」が「やらなければならない」に変わるのも辛い。せつかくの楽しみが負担になってしまうなんて。空想で終わらせていた方が幸せなこともあるのかもしれない。

頭が忙しくなってくると、体が動かなくなってくる。困った反比例。それでも時間は容赦なくどんどん過ぎていく。僕の場合、こういうケースでは、睡眠逃避に走る事が多い。とにかく眠くなる。「逃避でもなんでもなく、ホントに眠い! 身体が要求してるんだ!」と納得出来るくらい眠くなる。しかしそんな言い訳を考える余裕があること自体がおかしな話だし、寝るだけの「時間」はあるという事なのだ。何だ、全然忙しくないんじゃないか! 僕は「頑張っている」とは言えないな…。

そんな自分をギリギリで突き動かすもの。それはやはり、待っている人がいるという事実。例えば、原稿を落として里ちんを泣かすわけにはいかない。さらに、原稿を早く書き終えなければ、せつかくの休日もどこにも連れていってもらえない家族も哀れだ。

緊急対談!?

江成公隆×天竺 充

PART II

エクセル。

〈先月号より続く〉

天..私の場合を説明しましょう。現在、江成さんよりは釣りに行ける回数が多いんですが、それでも週イチです。ハッキリ言って、時間は私でも足りないんですよ。その中でどうやりくりしたら釣果を伸ばす事が出来るのか? これをまず考えました。そこで最初に釣り方を絞りました。どのトーナメントを見ても、セットが強いというのは新参者の私でもすぐに分かりました。雑誌を読めば誰でも分かりますよね。カラダグリアでのダンゴの蒙快な釣りも魅力的でしたけど、土日の釣りがメインの私としては、これは違うな、と。次に、徹底的にデータ雑誌から拾いました。仕掛けのセッティング、ウキの大きさ、エサのブレンド、釣果など、あらゆるデータをエクセルに放り込みまして、毎日毎日眺めました(笑)。

江..それは凄いですね!! やっぱりデータ化すると見えてくるものがありますよね。天..大アリでしたね。最初は理論ではないんですよ。傾向をつかんで真似てみる事で、何となく分かってくるものだと思うんです。有名な方の理論とかテクニクというものは、読んだだけでは身につけませんし、理解も出来ないんです。やって初めて、「あーなるほどな」って思えるんですね。とりあえず仕掛けもエサもテクニクも丸暗記でした。現在は、「セットなら何とかなるかな」という自信は付きましたか。

江..なるほど。で、次はダンゴとか底釣りとかっていう方向へは行かないんですか?

天..問題はそこなんです。確かにセットではそこそこ自信は付いたとは言ってもですよ、それで完成、なんてことは絶対にありえない。



魚釣りってそういうものですか？で、結局釣りに行く度に必ず何かしら課題をもち帰るんです。そのおさらいを次回の釣行でやるわけですから…。他の釣り方をやる余裕なんてないんです。ちなみに底釣りは冬の「段底」に限り、私もやりませんが(笑)。「段底」に限り、私もやりませんが(笑)。でもその気持ち、分かりますよ。僕だって釣りに行く度に何かしら思う事がありますから。けっこうメモ魔なんで、その場でレシートの裏とか名刺なんかに書き留めたりして。書きつ放しできちんと整理しないタイプなんですが、さすがに最近では連載もあるので少しは整理するようになりました。ただ、次回の釣行でおさらいはしません(笑)。しないというより、その場ではも

う忘れてしまっていて、全然別の釣りをやってたりなんかして…。
天..それはもったいないですよ。正直言って、月イチでトーナメントを勝ち抜けるかというのは非常に無理難題だと思うんですが、江成さんには過去の膨大な貯金があるので可能性はあると思うんですがねえ…。
江..うーん。もっと「自分に厳しくあれ」って事ですよ。今まではある意味なめた部分があると思うので、これからはもっと計画的にやっていたいかな、とは思ってるんですが…。
里..じゃあ、今度のクラブ対抗予選は黙ってセットで浅いタナですね？ちゃんとウドン作って下さいよ！
江..あたり前じゃん！もうダンゴなんてやらないぜ！長い竿全部置いてくからね。*
天..その心意気ですよ(笑)。セットだけしばらくやっていると、江成さんならすぐに感覚が戻るんじゃないかと思えますよ。
江..ふと思っただんですけど、もしトーナメントの主流がセットではなく他の釣り方だとしたら、天笠さんは当然その釣りを覚えようとしたわけですよ？
天..そうですね。特にセットが好きという訳ではないですよ。覚え始めにダンゴでの勝負が主流であったなら、私はダンゴを練習し

たと思います。
江..天笠さんは勝負にこだわってるんですね。天..いえいえ。紛らわしいんですが、それは誤解されると困るんです。私の場合、吸収した知識を試してみたいという気持ちが強いだけなんです。釣りはあくまでも魚が相手であって、人ではないと思ってますし。ただ、釣りに完全な正解なんてない訳ですから、目安となるのは他人との釣果の差がありません。それで競技指向となるわけですね。全く的外れな釣りを選択してしまつてはデータもとれませんから、やはり自分は皆と同じセットということになる訳です。
江..現在の僕は、トーナメントで頭を獲ろうなんて思っていないんですよ。よく釣る人の秘密を知りたいんですね。知識欲っていうんですか？そういう気持ちが強いんですね。
里..アニキはそんな感じありますよね。トーナメントおたくっていうか、裏技コレクターというか…。なんかマニア系入ってますから。
江..何でもどーぞ。天笠さんは勝負にこだわっている訳じゃない、と。でも、やるからには当然頭は狙っていると思います。それはズバリ、人に勝つという意味ではなく、よりへらに近付く事が出来たという結果への御褒美として、ですね？
天..そういうことになります(笑)。
江..なるほどなあ…。でも、水見るとダメなんだよなあ、オレ…。
里..釣りしてる時のアニキはホントいい顔してますよね。根っから好きってのがよく分かります。ま、楽しみ方は人それぞれですから。いいんじゃないですか？今のままで。
江..おい、いいのかわ？
里..だってしょうがないでしょう？だいたいいアニキは言うて聞くようなタイプじゃない

です。それに読者の大半は、アニキに復活して欲しくないですからね。
天..ハハハ。面白い展開になって来ましたねえ(笑)。でも楽しみ方は人それぞれというのは本当だと思えますよ。江成さんのように色々な釣り方で楽しめるというのは、私は凄く羨ましいですから。
江..色々な釣り方って言ったって…、ロクに釣れないんじゃないでしょうか？
天..以前は結果は出ていらつしやつたんですよ？
江..うーん…自分で言うのはどうかと思いますが、夢中でやってた頃の最後の方は、ひとりの釣り方でそこそこ釣れるようになったと思っていましたね。あくまでも自己満足ですけど。自分の中の目安として、所属クラブでの月例会優勝という基準があったんですが、ほとんどの釣り方で一度は優勝したような記憶があります。と言っても、みんな一回ずつ位(笑)。僕はいつも二着が多かったですね。
里..当時の所属クラブって、名門ゴールデンクラブとサンデーマスターズですよ。それは基準としても問題ないですね！
天..里ちゃん註..と、宣言しておきながら、当日の江成は17尺チョーシン両ダンゴをプチかまして激チンしたのは皆さん御承知の通り…

天笠 充【あまがさみつる】
埼玉県さいたま市在住 会社員
S46.4.4生まれ 33歳 へら歴3年
トライアルクラブ所属
●主な戦績
2002
・ダイワスーパーバトルカップ全国大会出場
・JBへらプロトーナメント3位
2003
・ダイワスーパーバトルカップ全国大会出場
・シマノジャパンカップ全国大会出場(7位)
※椎の木湖予選優勝
・マルキュークラブ対抗全国大会出場(5位)
※2次予選(羽生吉沼)優勝
・NHC全国大会3位 ※へらワールド認定
2004
・ダイワヘアバトルカップ準優勝
・G杯全国大会出場権獲得
・マルキュークラブ対抗関東一次予選通過

スヘシヤリストのススメ?

天…ところで江成さんは最初はカッツケのダングから憶えたそうですが、途中からやっぱオリールラウンダーへの憧れというものがあったんですか？

江…ええ、連載でも書きましたけど、ありましたね。

天…それは純粹な好奇心というか向上心というものからですか？

江…勿論それがメインではありませんが、それだけじゃないですね。

天…それはやはり、名前が売れてしまった故のプレッシャーですか？

江……でしようね。僕なんか大したことないのに(笑)。メディアに出るようになると、けっこうみんな勘違いしちゃうんですよ(笑)。

天…いやいや。業界のことを思えば、その勘違いが大事なんだってことは、先程確認済みですから(笑)…まあ冗談はともかく、私のまわりにもそのプレッシャーで潰れそうな友人がいる気がします。もしそうであれば、残念に感じますね。

江…うーん。僕の場合は時間的に恵まれていましたからねえ…。さっき言ったように意識しなかったっておさらいが出来ていたんですよ。たとえ翌日の釣りでおさらいしなくても、その翌日でおさらいが出来たんです。それでも一番得意な浅いタナは壊れちゃったと思っています。

天…当時の江成さんがそれでは、ごく普通のサンデーアングラーには無理な話ですよ。

江…まあ、その人のセンスや努力によっても違ってくるものだと思いますよ。現在活躍中のスター達がみんな恵まれていたかというのと、必ずしもそうじゃないと思いますし。いや、やっぱり恵まれてるかな?(笑)

天…よく、まずひとつでいいから得意な釣りを作って、そこから枝葉を広げていっていいような話を聞くんですが、そんな余裕はないっていつも私は思うんです。ひとつで精一杯なんです(笑)。

江…確かにその話はサンデーアングラーには厳しい話かもしれませんが、当たり前のようによく語られる話ですけど、一般とズレていると言えなくもないかも…。

天…「セツトしか出来ない」というのは事実ですし、私は全く恥ずかしくはありません。別に他人にどう評価されようが、へらに相手にしてもらえれば十分なんです。でも、「他の楽しみを知らないなんて可哀想」っていう見方をされると堪らないですね(笑)。そりゃ私だって未知の世界に足を踏み入れたいのはヤマヤマなんです。でもそれだけの余裕がないんです。時間もお金もタツプリーある人を羨ましいとは思いませんが、自分達の尺度

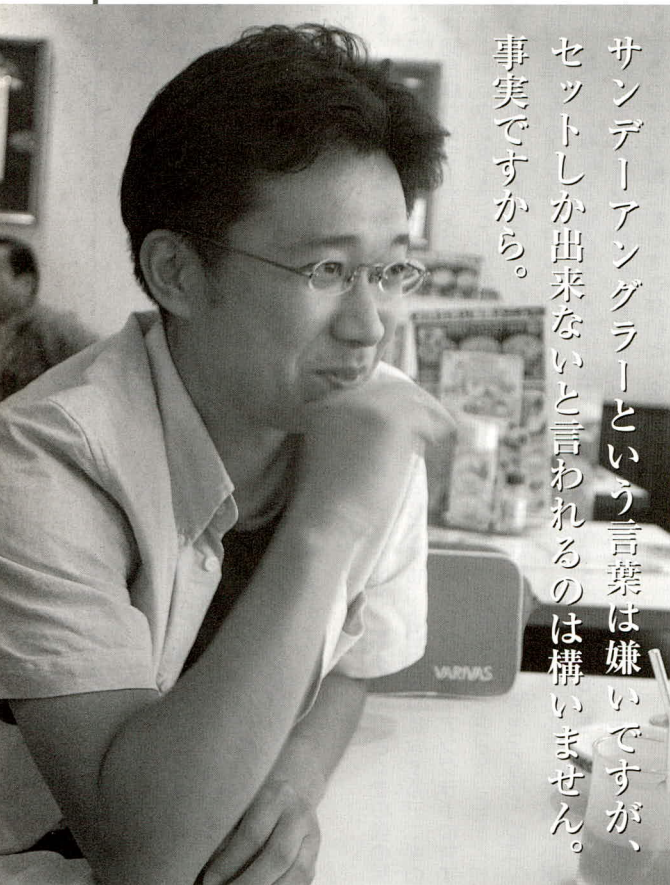
だけで見るのは勘弁して戴きたいと思いますね。

江…うーん、これはきつと多くの読者の気持ちなんでしょうね…。

天…さっきから私も使っていますが、実は「サンデーアングラー」という言葉は嫌いなんです。なんだかこの言葉からは、平日に時間が自由になる人が一般的で、へら釣りは普通のサラリーマンがやるような趣味じゃないという印象を受けるんですね。でも、そんな苦はないだろう、と。サンデーアングラーが大半の苦なのに、いちいちその呼び方はおかしいんじゃないか、と。

里…いやあ、非常に貴重なご意見ですねえ…。確かに読者の大半はサンデーアングラーの苦なんです。僕の場合だと、それを忘れてはいけないと時々意識して書いているんですが、それがかえって「ぶっちゃけハナにつくせ！」って事ですよ？

サンデーアングラーという言葉は嫌いですが、セツトしか出来ないと言われるのは構いません。事実ですから。



新バージョン登場!! 【セミロングスタイル・ソリッドムク】

熱い要望に応え、ついに登場。
速攻の両ダンゴから段底まで、用途は自由自在!

- ボディは羽根2枚合わせ6mm径で必要十分な浮力
- 厳選されたスローターバー1mm径ソリッドムクトップ
- サイズ：一番 (T20cm B8cm カーボン足8cm)
～五番 (T28cm B14cm カーボン足8cm)
- 9月上旬発売予定 定価1本6,500円(税別) 6,825円(税込)

取り扱い店(五十音順)

埼玉・越谷 かわせみ (☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具 (☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館 (☎03-3499-5025)
埼玉・入間 へらの三水 (☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその (☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 鮎仙人 (☎044-287-7470)
東京・吉祥寺 丸勝 (☎0422-22-8923) 東京・青橋 吉川釣具店 (☎0428-22-2467)

へら浮子 杉山作

天：そこまでは言っていないよ（笑）。
江：いや実はですね、僕も毎日釣りに行けた当時ってのは、平日も土日も関係なかった訳ですよ。でも土日のタフコンディションでしか釣りが出来ない人が大半だったって事は承知してたので、サンデーマスターズにも入ったんですね。やってみて思ったのは、どちらも難しいって事なんです。でも、「平日は釣れるに決まってる」という見方をする人が多かったんですね。ならば土日でも釣らないと聞く耳を持ってもらえないな、っていうのは思いました。転職して毎日釣りが出来なくなりましたが（笑）、休みのメインは平日で…。結局僕は参加しなかったんですが、プロジェクトウインが発足する前にみんなが集まった時も、土日の釣りの重要性っていうのはみんな意識してましたね。これは対トーナメントっていう部分も勿論ありますが、それだけでなく、土日に盛り上がりがない遊びには未来はないっていう意識だったんじゃないかと思えます。でも俺は休めないぞ！みたいな（笑）。

脱・サンデーアングラー？

天：うーん…。私は別に平日の釣りが易しいだなんて思っていないよ。それに平日休みの人を羨ましいとも思っていないんですよ。これだけ多様化の時代ですから、土日休み以外の人が持っている善です。そうでなければ世の中回りませんからね（笑）。さっき私は「土日休みが普通」と言いましたが、ちょっと訂正させて下さい。私が言いたかったのは、「平日も平日も関係なく時間が自由になる人が主役ではつまらないな」という事なんです。何度も言いますが、これは僻みとかそんなものではありません。そうではなくて、参考にならないからなんです。テクニクなんかはまるっきり参考にならないと言ったら嘘に

なりませんが、もの見方や考え方にリアリティがないというか…。それに、自由になる時間の量が勝敗が決まってしまうとしたら、面白くないじゃないですか？ そういう意味では、この「トーナメント復活への道」は、私なんかにはすごくリアリティがあって面白いんです。

江：そう言っただけだと正直に嬉しいなあ。それに、確かにそれでは夢がないですよ。中には完全なサンデーアングラーでありながら、オールラウンダーでどんな釣りでもよく釣るっていう人もいます。30代なのに釣り歴25年のベテランだったりするんですよ（笑）。これはもう埋めようがない差です。けど、釣りを絞れば新規参入者にもチャンスがあるっていう事になってこないか、全く夢がないんです。

ただ、話をひっくり返すようで申し訳ないんですが、他の釣りをやったからこそ見えるてる事ってあるんですよ。僕はいつも「釣りはみんな繋がってる」と思ってるんです。ダンゴをやって初めて見えてくるセットがあったり、底釣りをやって見えてくる宙釣りがあったり、その逆もあって、と。

天：そうでしょうね。それは私にもイメージは出来ずし、何も私は一生セットしかやらないと言っているわけではありませんので（笑）、長期的には視野に入れています。ただ今のところ、セットにもうしばらく時間がかかるだろうな、ということなんです。でも中には、セットしかやらないつもりの人もいるかもしれないよ。でも、江成さんにはそういう人を否定しないで欲しいんですよ。色んな楽しみ方があっていいんですから。

江：了解しました。とにかく「時間」の壁は、やりようによっては乗り越えられるって事です。底辺拡大には繋がらないって事です。そういう意味では、僕も頑張りたかったんですが…。天笠さん、バトンタッチ

します？（笑）
天：冗談を（笑）。確かにそういう意味では、江成さんの連載はともいいたいと思いますよ。ただ、土日の休みが少ない江成さんが、そこまで土日にこだわる必要があるのかな？ という疑問があります。

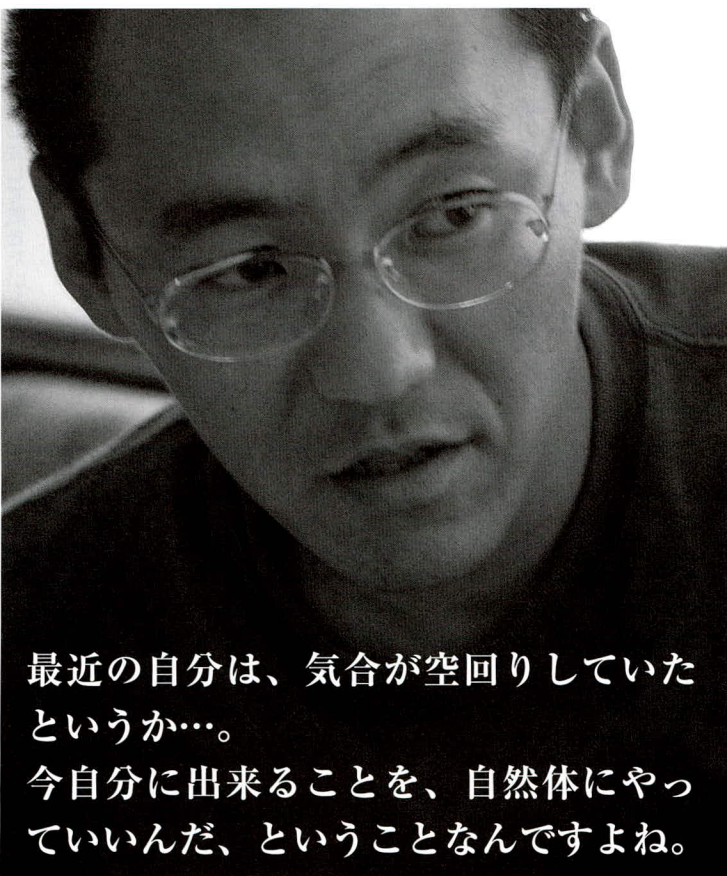
江：えっ？
里：なるほど。要するに、さっきの僕の話と同じですね。土日の釣りに対するアニキの姿勢が、なんだかサンデーアングラーに対する同情のような感じでハナにつく、と？

天：そんな事は言ってませんってば！（笑）
江：うーん：同情っていうふうを意識した事はないんですけど…。でも、そうなのかなあ？ 毎日釣りに行けた当時ってのは、毎日出来な

い人に対して罪悪感みたいなものはあったんですよ。そういう罪悪感が、いわゆるサンデーアングラーという人達へのある意味尊敬というか何というか、うまく言えないですけど特別な感情に繋がっていったんでしょうかねえ。

天：そんな罪悪感を感じることも自体がおかしいと思いますよ。与えられた立場を存分に活用してどこが悪いんですか？ 話になってきます。「他人は他人」ではありませんでしたか？ 私は他人の立場を羨みません。だいたい江成さんだって毎日釣りに行けるかわりに、それなりに犠牲にしたものもあった筈だと私は見えていますか？

江：まあ、そうかも知れませんが…。当時



最近の自分は、気合が空回りしていた
というか…。
今自分に出来ることを、自然体によっ
ていいんだ、ということなんですよ。

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早め!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

- 柴舟(東京都江戸川区)
03-3613-2727
- 佐伯釣具店(神奈川県川崎市)
044-911-3722
- SANSUI川づり館(東京都渋谷区)
03-3499-5025
- フィッシング中原(神奈川県川崎市)
044-711-8266
- 鮒仙人(神奈川県川崎市)
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

http://www.office27.com
E-mail: info@office27.com

とは全然違う状況になっていながら、いまだに土日にごだわるのはおかしいかもしれませぬ。

天: 話は簡単なんです。休みやすい平日のトーナメントに出ればいいんです。江成さんの気持ちはよく分かりましたから、ここで土日の釣りを諦めたって誰も文句は言わないと思います。…江成さん、何だかんだ言っちゃってやはり釣りは遊びなんです。もう少し自分のリズムを大事にしてもいいと思いますよ。仕事をそうそう変えられる訳じゃなし、おそろくすつと今のペースなんでしょうから、無理して試釣も出来ない土日にごだわる必要はないと思うんですよ。そうすればたまの土日休みは完全に家族のために使えますし、一石二鳥です。

江: 平日となると、やはり例会ですかねえ。でも平日の方が休みやすいとはいえ、年間全部出られるかっていうと、それはそれで疑問だなあ…。

里: …「ネオヘラ」。アニキ、来年はネオヘラしかないッス! 岡田さんも一緒にやりたいって言ってましたから!

江: おいおい、ちょっと考えさせてくれよ…。それに、だいたい俺がインビテーションナル(招待)されるわけねーって!

里: 考える必要なんてありません! これでは

この企画の新しい方向性が見つかってホッとしましたよ。

天: 編集長、相変わらずムチャクチャな…。でも、私も少しはお役に立てたようで、ホッとしています(笑)。

里: 天笠さん、今日は遅くまで本場にありがとうございました。ホラ、アニキもお礼を!

江: あ、どうも今日はありがとうございました。…って、こんな終わり方ではないんかよ! まあでも、今日は天笠さんとお話出来て、すごく良かったと思いますよ。何か、最近の自分には気合が入り過ぎていたというか、気合が空回りしていたというか…。時間がないことを承知しながら、無理をしていたんですね。今自分出来ることを、自然体に行っているんだ、ということなんです。何か、今日、天笠さんとお話して、勝手に担いでいた肩の荷が下りたような気がしますよ。

天: そうですよ。江成さんは真面目過ぎるんだと思いますよ。少し力を抜いていきましょうよ。もっとへら釣りを楽しましょー! 江: よっしゃー! クラブ対抗はがんばっちゃうもんね! 天笠さん、今日は遅くまで本場にありがとうございました!

天: いえいえ、こちらこそ楽しかったですよ。ではクラブ対抗でお会いしましょう!

＜完＞

…というわけで、結局深夜まで及んだ江成&天笠氏の対談、であった。

文中で江成が言及しているとおり、天笠氏との対談は、気合が入りすぎて空回り気味だった江成にとって、冷静さを取り戻すいいきっかけとなったのかもしれない。まさに里の目論みどおり(ホントかよ!)

自分の置かれている立場を冷静に分析し、無理のない範囲で、しかし、目一杯、かけがえない興味としてへら釣りを楽しんでいる天笠氏。その言葉一つひとつには、何か、大きな説得力があったように思う。この対談を経て、江成は決して「よし、セットだけ練習しよう!」と思ったわけではない。もっと根本的に大切な部分: 「自然体で、自分が出来る範囲で、まずはへら釣りを楽しむこと」。そのことの大切さに気付いたのだ。

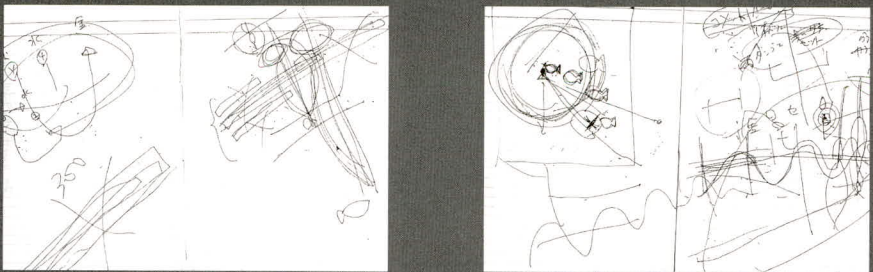
さて、来月からはどうしようか…。

とりあえず、「トーナメント参戦編」は小休させざるをえない感じだし、江成自身、実際にトーナメントに参戦してみたことで、まだまだじっくりとお勉強したいことが山盛りであることに気付いてしまったらしい…。

今度は、里が江成の考えをじっくり聞いてみる必要があるようだ。もちろん、釣りでもしながらネ! して、今後の展開は…。来月号のお楽しみ!

by りちん

▼対談中の江成のメモ。これらは一部ではなく全て。もちろん録音もなし。どういう脳内変換が行われると、この宇宙人と交信しているかのような怪奇な図形が原稿になるのだろうか…。天才、いや変態的である。現場に居合わせた里が証言するが、出来上がった対談の原稿は、ほぼ実際の対談の様子を忠実に再現している。天笠氏も原稿チェック済みだ



おまけ♡

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

へら鮎

Monthly fishing magazine herabuna

No.466
2004 Oct **10**



小池忠教スペシャル。

昭和41年5月4日第3種郵便物認可
 平成16年10月1日発行

丸 つれるエサブリー筋
マルキユ

エサを持たせられる。

**チョーチンに欠かせない、
 ウワズらせない
 重さがある。**

**タナで誘う、やわらかな
 ふくらみがある。**

**かなり使われている。
 釣り場でよく見かける。**

**流行のやわネバ系
 ダンゴが作りやすい。**



**「チョーチン
 両ダンゴに
 グルバラ」**

**つまり「グルバラ」は、
 チョーチン両ダンゴの
 強力サポーター。**

定価 1000円 本体九五二円

丸 マルキユ株式会社
 〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
 合わせ 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
 ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
 Eメール <http://www.marukyu.com/i>

